



# EVモータコアの高出力対応磁気測定

高磁束・高周波における磁気特性・損失評価をご提供いたします。

## 特徴

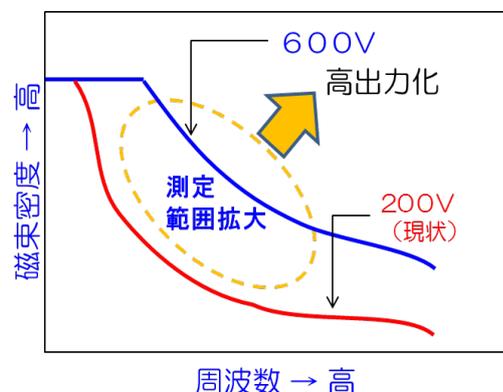
- EV開発に対応した高磁束密度×高周波の鉄損評価

モータの高トルク、高速回転化にともない、従来測定が困難だったコア材料の高磁束、高周波における鉄損評価が重要になっています。当社では、新たな大容量励磁電源の導入により、最大出力600V×10A(6kVA)までの鉄損評価が可能です。

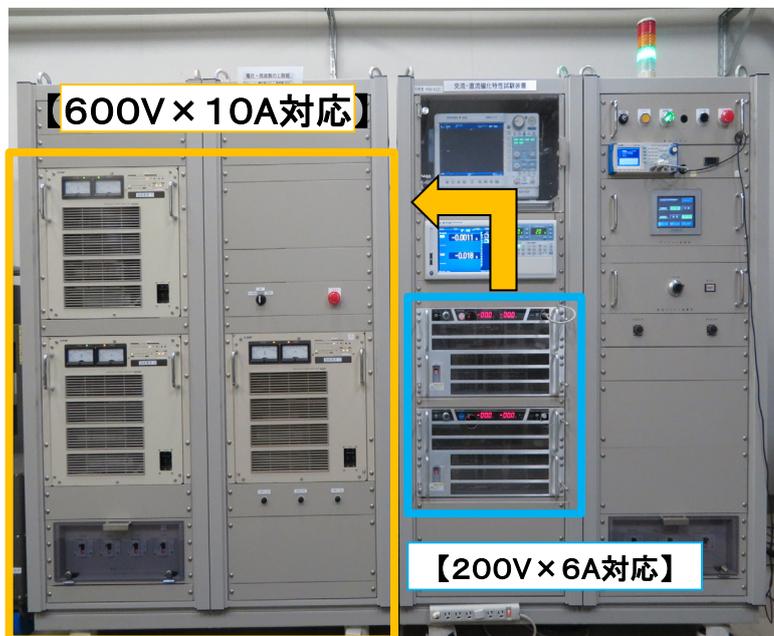
## 評価内容

- 大容量励磁電源を用いた交流磁気特性評価

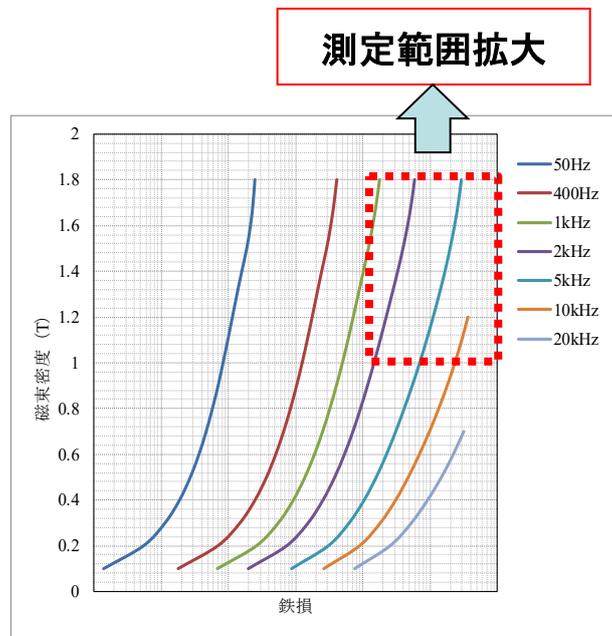
- ・出力: 600 V×10 A (6000 VA)
- ・励磁周波数: 50 Hz~20000 Hz
- ・測定方法: エプスタイン試験、単板試験、リング試験
- ・形状: 板、リング、積層コアなど
- \* 従来電源の場合、200 V×6 A (1200 VA)、周波数200 kHzまで可能



## 測定事例



大容量励磁電源 (600V×10A)



高磁束・高周波鉄損結果



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2019 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。